

講習の名称：進路指導及びキャリア教育

担当講師：山口 陽弘（大学院教育学研究科教授）

講習開講日：令和3年8月20日（金）

時間数：6 時間

主な受講対象者：小学校，中学校，高等学校教諭など，職業指導の基礎知識を得たい方に。

キーワード：キャリア形成，職業教育，新井紀子

講習の概要：

小中高生を指導していらっしゃる先生方は、キャリア教育（職業指導）に悩んでおられることと思います。そのために必要な基礎知識（意識改革）が何なのかを一緒に考えていきます。実際の受講者数やそのニーズにもよりますが、できるだけ受講生のニーズを拾って、一緒に考えてみたいと思います。キャリア教育に完全な解答があると期待せずに、考え方を学んでもらうことがこの授業の教育目標です。

講習の展開：

- 第 1 時限～第 2 時限 受講者のニーズをできるかぎり把握し，現在のキャリア教育・特に過去のキャリア教育と何が異なるか～特に講演者自身のキャリア形成を踏まえつつ論じる
- 第 3 時限 児童・生徒・さらには今の大学生が持っているキャリア形成観
- 第 4 時限 できるだけ受講生との対話・個別の発表・講師によるコメント・まとめ

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

受講者ご自身の過去のキャリア形成について想起しておくことをお願いします。講演者自身のキャリア形成も公開します。その上で、受講者ご自身が教える際に、過去どのようなキャリア教育を行ったかを個別に発表していただく機会をできるだけ設定します。

授業の形式：

講義および、できるだけ対話的な授業で。ただし、数が非常に多い場合には、十分な討論ができないこともあります。ここ数年受講生が多く、大講義形式の時間が長かったことを、あらかじめ申し上げておきます。

履修認定試験：まとめとなる論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

参考図書：玄田有史『増補改訂 14 歳からの仕事道』イーストプレス→この本を過去においてはテキストとして指定していましたが、絶版で入手が困難なようです。したがって、比較的入手しやすい、新井紀子『AI に負けない子どもを育てる』東洋経済新報社を参考図書として勧めておきます。新井紀子氏の提案を具体化することも本授業の目標です。